

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2025/10/06号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



OPECプラスの大規模増産観測で反落

NY原油先物相場は、1バレル=66.42ドルをピークに60ドル台まで反落し、5月30日以来の安値を更新する展開になった。ロシア産の供給不安を背景に65ドルの節目を上抜いていたが、改めて需給緩和見通しを織り込む動きが優勢になった。10月5日に石油輸出国機構（OPEC）プラス会合を控えているが、11月に大規模な増産を行うことを合意するとの見方が強まり、需給緩和リスクが高まったと評価されている。引き続きウクライナ軍はロシア石油関連施設を攻撃しているが、地政学リスクよりも需給緩和見通しの織り込みが優先された。

OPECプラスは10月に日量13.7万バレルの減産縮小（＝増産）を行うことで合意している。10月5日には11月の産油政策について協議するが、Reutersはサウジアラビアが10月の2～4倍に相当する日量27.4万～54.8万バレルの増産を望んでいると報じた。日量50万バレルの増産が合意される可能性も報じられたが、OPECはX（旧Twitter）に50万バレルの増産報道は不正確で誤解を招くと投稿している。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（9月26日時点）は、原油が前週比179万バレル増、ガソリンが413万バレル増、石油精製品が58万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【展望】

需給緩和で戻り売り、OPECプラス会合の結果に注目

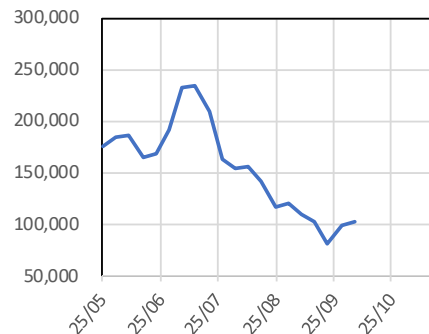
需給緩和見通しで戻り売り優勢の展開が続きやすい。10月5日に石油輸出国機構（OPEC）プラスがどのような決定を下すのかにも依存するが、いずれにしても年末に向けて供給過剰傾向が強まる見通しに変化は生じない。地政学環境も不安定化しているため突発的な上昇リスクも抱えるが、昨年8月以降の支持線だった62ドルを割り込んだことで、60ドル割れへのレンジ切り下げを打診する見通し。

OPECプラスは11月も減産縮小（＝増産）を進めることを合意する見通し。仮に10月と同規模の日量13.7万バレルに留まると、弱気筋の失望感からショートカバー（買い戻し）が膨らみ、60ドル台前半で安値修正の動きが強まる可能性がある。一方、サウジアラビアの主張しているようにその2～4倍規模の減産縮小が合意されると、年末に向けての需給緩和は決定的になり、徐々に60ドル台を維持することは難しくなろう。60ドルを割り込むと、4月の年初来安値55.12ドルを意識した展開に移行する見通し。

ただし、地政学環境は一段と不安定化しているため、9月下旬に見られたような一時的な反発リスクは想定しておく必要がある。ウクライナ軍はロシア軍の燃料補給を断つ目的で、ロシアの石油関連施設を集中攻撃している。ロシアは国内でガソリンやディーゼルの供給不安が深刻化しているが、さらに大規模な攻撃が報告されると、安値修正が促されるリスクはある。

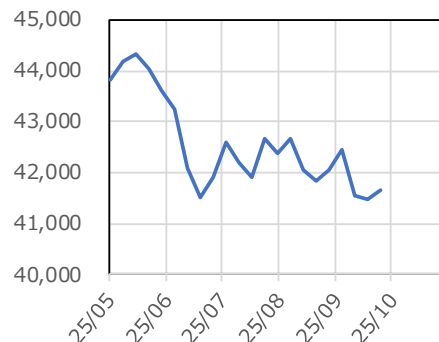
「需給緩和の売り」と「地政学リスクの買い」を繰り返しながら、徐々にコアレンジを切り下げていく展開が続く見通し。一本調子の値上がり、値下がりには発展しづらい。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



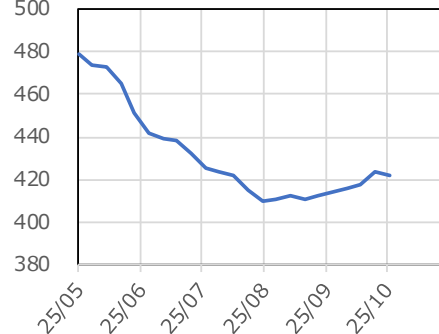
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL：03-6661-9498 【E-mail】 info@markededge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

